

2026年7月31日

「^{ス タ ッ ト コ ム}STATCOM設置工事」の本格工事開始について
～基幹系統整備による再エネ連系拡大に向けて～

当社は、本日、上北変電所（青森県上北郡七戸町）および岩手変電所（岩手県盛岡市）において、^{ス タ ッ ト コ ム}STATCOM（自励式静止型無効電力補償装置）の設置工事（以下、「本工事」という。）を開始いたしました。

東北北部エリア^{※1}の再生可能エネルギー電源等の系統連系増加に対応するため、電力広域的運営推進機関が主宰する電源接続案件募集プロセス^{※2}（東北北部エリア電源接続案件募集プロセス）に基づき、当社は、当該エリアの一般送配電事業者として、送変電設備の建設工事を進めております。

本工事は、これら送変電設備工事の一環であり、電力系統における電圧の安定性向上を図るため、系統の電圧変動を瞬時に検知し、電圧を調整することで系統電圧を適正に維持するSTATCOMを設置するものです。

STATCOMの設置は当社管内で初となるほか、今回設置するSTATCOMは世界最大級の設備容量となります。

当社は、2031年12月の使用開始に向けて、工事における安全確保を徹底するとともに、騒音・振動等の環境保全対策を実施したうえで作業を進め、周辺環境に配慮した設備形成に努めてまいります。

本工事の概要は、以下のとおりです。

工事場所	上北変電所	岩手変電所
所在地	青森県上北郡七戸町	岩手県盛岡市
設備容量	±800MVA	±700MVA
使用開始予定	2031年12月	2031年12月

※1 東北北部エリア
青森県全域、岩手県全域、秋田県全域、宮城県の気仙沼市全域と本吉郡南三陸町全域。

※2 電源接続案件募集プロセス
再生可能エネルギー電源等の接続希望が集中するエリアにおいて、複数の事業者の接続を一括して調整し、送電網の効率的な整備と工事費負担の低減を図るための仕組み。

以 上

（別紙）STATCOM（スタットコム）設置の概要

なお、当社ホームページ「[再生可能エネルギー導入拡大に向けた主要な工事について](#)」において、STATCOMの整備計画を掲載しております。

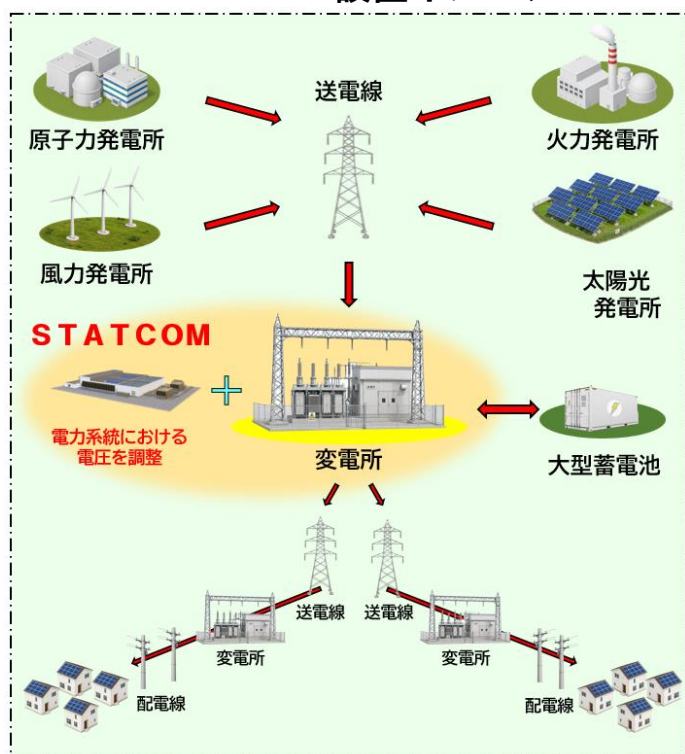
STATCOM (スタットコム) 設置の概要

- 東北北部エリアでは、風力発電を中心とした再生可能エネルギー電源の導入が進んでおり、当社では、再生可能エネルギーの最大限活用に向けて、より多くの電力を東北南部や首都圏などの大規模需要地へ送電するため、送変電設備の増強に取り組んでいます。
- 一方で、送電線を通る電力が増加すると、送電線で事故が発生した際に電力系統における電圧の変動が大きくなり、系統の安定運用に影響を及ぼすおそれがあります。
- そのため当社は、電力系統における電圧の安定性向上を図るため、上北変電所と岩手変電所に**世界最大級の設備容量**となる「STATCOM」を設置することといたしました。

STATCOM～**STAT**ic Synchronous **COM**pensator～ (自励式静止型無効電力補償装置)

- 電力系統における電圧の変化を瞬時に検知し、無効電力（系統電圧の回復に必要な電力）の出力を高速かつ精密に制御することで、電力系統の電圧を適正な状態に保ちます。

STATCOM設置イメージ



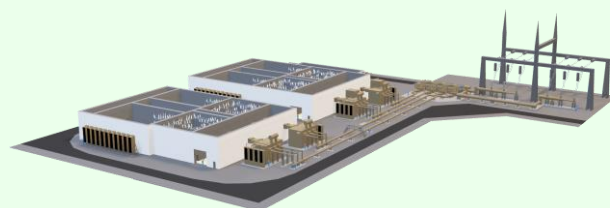
設備概要

設置場所	上北変電所 (青森県上北郡七戸町)
設備容量	± 800MVA
メーカー	株式会社東芝
設置面積	約12,900㎡



完成イメージ

設置場所	岩手変電所 (岩手県盛岡市)
設備容量	± 700MVA
メーカー	三菱電機株式会社
設置面積	約11,600㎡



完成イメージ

事故発生時におけるSTATCOMの役割

